

井原市公共交通会議（平成 30 年度第 3 回）議事録

と き 平成 30 年 11 月 22 日（木）

10：00～11：30

ところ 井原市役所 5 階 501・502 会議室

1. 開 会

会議の成立を報告

- ・出席者 委員 24 名中 22 名（実出席 21 名、代理出席 1 名）

2. 大舌市長あいさつ

3. 新会長の選出

・事務局説明

（事務局） 前会長である副市長の退任に伴い、井原市公共交通会議の会長職については、現在空席となっているため新会長を選出したい。会長の選任は井原市公共交通会議設置要綱の規定により、委員の互選によることとされているがいかがか。

（委員） 事務局案があればお伺いしたい。

（事務局） 事務局案としては、新会長に井原市副市長である猪原委員を選出したいと考えているがいかがか。

【新会長の選出について承認】

4. 猪原会長あいさつ

5. 協 議

1) 「縮小」の運行見直し基準に該当する路線の検証結果について

・事務局説明

（猪原会長） 委員の皆様からご意見等は無いか。

（猪原会長） 質問等が無ければ、原案のとおり承認してよいか。

【協議事項承認】

6. その他

＜株井笠バスカンパニーのダイヤ改正案について＞

・株井笠バスカンパニーよりダイヤ改正案について説明

（猪原会長） 委員の皆様からご質問やご意見等は無いか。

（委員） 今回の改正案を提出するにあたり、遅延の情報等を細かく分析してもらった点は良いことだと思う。利用者はバスが時間通りに来ないと不安を感じるため、定時性の向上は非常に重要である。一方で、利用したい時間は朝と夕方にある程度集中しており、各時間帯に平準的に利用があるわけで

はない。これまでのダイヤ設定がサービス提供側の都合で設定されたものであれば、今回の提案で改善されることになるかもしれないが、利用の集中する時間帯を考慮してダイヤ設定を行っていたのであれば、今回のダイヤ改正が利用者にとってマイナスとなる可能性もある。今回の改正案は、利用者のニーズを把握した上で設定したものなのかどうか教えてほしい。また、「福山～井原線」においては、平日の6:27井原駅発や19:20福山駅発が同じ時間帯に井原鉄道が運行しているという理由で減便されているが、バス停との距離が近い目的地に行く場合は、鉄道よりもバスの方が便利なおこともある。ダイヤ改正を行う際には、鉄道とバスで利用者の属性が違ふという点にも配慮してもらいたい。

(#並バスカンパニー) 各路線の利用状況については、毎年度実施している乗降調査結果からある程度は把握できている。ダイヤ改正後に良い点だけではなく悪い点も出てくるかもしれないが、長期的に見直しを続けてニーズに合った運行にしていきたい。指摘のあった「福山～井原線」の減便については、バスの乗務員不足や労働時間が影響している。これは、バス業界全体の課題であり、関係市町の皆様のご意見をいただきながら改善を続けていきたい。

(委員) バスの乗務員不足は全国各地で課題となっているおり、事業者にとって深刻な問題であることは承知している。一方で、公共交通の利用者は一度離れてしまうとサービスを改善しても戻ってこないことが多いため、ダイヤを改正する前に利用者のニーズをしっかりと把握し、丁寧な検証をお願いしたい。そのためには、改めてニーズ調査を実施する必要もあるかと思う。また、井原市で過去に実施した利用状況の調査等も参考にして議論してもらいたい。

(#並バスカンパニー) 頂いたご意見を今後の参考にさせてもらう。

<その他>

(猪原会長) 会議全体を通して、委員の皆様からご意見はないか。

(委員) 美星地区ではバスの利用者が少ないという説明があったが、行政だけではなく、住民側からも公共交通を盛り上げていく必要があると思う。公共交通に関する問題は井原市に限ったことではなく、岡山県内や全国的に議論されていることであり、関連する事例があれば事務局に提供してもらいたい。バス体験学習会のような取組を広げる等、できるだけバスに人を乗せるような施策を取らなければ利用者は更に減少する。車を運転できなくなったときに公共交通がなくなってしまうと、自分たちも交通弱者になりかねない。この会議は様々な立場の方が参加しているので、全国の事例を共有して委員全員で考えなければならないと思う。

(委員) 先日行われた公共交通祭りにおいて、バスの乗り方教室に参加した際、参加者のほとんどは親子連れで高齢者は少なかったように感じたが、運転手の説明が分かりやすくとても感心した。単に説明するだけでなく、分から

なかったことがないか子どもに質問を投げかけてもらおうと更に良いのではないかと思う。

また、井原鉄道を利用して岡山まで行ったとき、清音駅で井原鉄道の職員の対応が非常に良かったのでこの場でお伝えしたい。

接遇でいえば、姫路市でワンコイン（100円）の観光ループバスに乗った際、乗務員の挨拶が非常に気持ち良かったのであわせてご紹介したい。

(猪原会長) 接遇は非常に重要である。井原市の職員も意識していきたい。

(委員) 乗務員不足や乗務員の高齢化が非常に深刻な問題となっている。乗務員の平均年齢も上がっており、10年後、20年後には多くの乗務員が運転できなくなる。タクシー乗務員の募集をかけても人が集まらない状況の中で、津山圏域では2種免許取得の費用を補助する制度が今年度から始まっている。井原市においても、2種免許の取得に対する補助等に関して議論をお願いしたい。

(猪原会長) どのような形で議論するか検討したい。

(委員) 井原鉄道の駅にJRの連絡乗車券の券売機を置いてもらうことはできないか。神辺駅等でJRの路線へ乗り換える際に便利になると思う。

(委員) JRの連絡乗車券の券売機は、井原駅と神辺駅に設置している。それ以外の井原鉄道の駅への設置は費用の関係で難しい状況にある。今後の課題として検討したい。

(猪原会長) 他にご質問等が無ければ、本日の議題はすべて終了したので、進行を事務局に戻したい。

(事務局) 次回の会議日程は2月を予定している。時期が近づいたらご案内する。

(仁科副会長) 本日も熱心な議論に感謝している。資料にもあったとおり、バス利用者の減少が続いている。皆様には続けて公共交通の利用促進をお願いしたい。

閉 会

以上